資料１

令和３年９月定例（付託）
消費者・環境対策特別委員会資料
危機管理環境部

徳島県版・脱炭素ロードマップ骨子（案）

本県の地球温暖化・脱炭素対策を戦略的に推進するため、重点施策を新たに設け、具体的な取組みと行程を示すことにより、「2050年カーボンニュートラル」実現に極めて重要な「2030年度目標」達成を確実なものとする。

【地球温暖化・脱炭素対策】

- 徳島県気候変動対策推進計画（緩和編）2020.3月改定
- 自然エネルギー立県とくしま推進戦略 2019.7月改定
- 徳島県水素ｸﾞﾘｯﾄﾞ構想 2015.10月策定

【現状】
○2018年度・温室効果ガス実質排出△22.2%（2013年度比）
○2020年度・自然エネルギー電力自給率　32.2%

２０２１年度 → 集中期間 → ２０２５年度 → 加速期間 → ２０３０年度

県・市町村・民間企業等が一体となって推進

【具体的な取組みと行程】

［重点施策］

自然エネルギー最大限導入（自家消費型太陽光発電）

㊨ 改正・温対法に係る「促進区域」設定など徳島ならではの市町村支援
・環境配慮基準策定→ポジティブゾーニング→事業誘致
㊨ ＰＲ効果の高い県施設への率先導入
・設置可能性調査→施設選定→設置
㊨ ＰＰＡなど「初期投資低減化」ビジネスモデルの支援
・県有施設での導入、登録制度の創設・運用
㊨ 事前復興に資する、地域特性に応じたマイクログリッド構築
○ ＺＥＨの拡充、ＺＥＢの率先導入
○ 「徳島版ＥＳＧ地域金融活用協議会」による、住宅や農業、製造業等での導入促進
○ 自治体や企業における再エネ電力（RE100、再エネ100宣言REAction）の推進
○ 地球温暖化防止活動推進員など地域を繋ぐ人材の育成、普及啓発の強化　など

水素ｸﾞﾘｯﾄﾞ構想の推進

○ 「水素立県とくしま」を加速する新たな供給拠点整備
・㊨ 水素モビリティ（ＦＣトラックなど）によるグリーン物流の推進
㊨ 副生水素の「グリーン化」　など

循環経済への移行

○ 資源循環に資する、「『プラごみゼロ』とくしまスマート宣言」の推進
○ 食品ロスの削減　など

［基盤的施策］

○ 住宅・建築物の省エネ性能確保など、家庭、事業所等における省エネの徹底
○ 森林吸収源対策の強化やエシカル農業の実装など、農林水産分野におけるＧＸ推進
○ 持続可能な交通ネットワーク構築など、脱炭素型まちづくりの促進　など

２０３０年度目標
温室効果ガス実質排出△50％　自然エネ電力自給率50％

２０５０年　カーボンニュートラル